



飯守康洋

農林業の振興に関して

飯守 林業の必要性はどうか。
答弁 林業については森林の木材生産機能だけでなく、公益的機能の持続的発揮という新たな役割を担って、住民の安全・安心な、生活基盤を支える上で重要と考えています。

飯守 植林面積と就業人口等の推移と現状は。
答弁 市全体の森林面積は、平成28年度を見ますと4850ha、内訳は人工林が2545ha、その中で国有林はありません。県有林が206



ha、市有林、これが673ha、個人有林等が合わせまして1666haです。

飯守 近年の事業・整備の内容について。
答弁 市が行った林業関係の事業としては、国の補助事業として、平成21年度と24年度に農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業の採択を受けて実施をしています。

県の補助事業としては、平成23年度より重要森林公的管理支援事業を実施しています。この事業は平成20年度より実施されている県の森林環境税を財源として行われている事業の一つで、事業内容としては、個人所有の荒廃森林などで広葉樹の植樹、下刈り、間伐などを行う事業となっています。平成23年度より西多久から南多久において実施しています。

飯守 今後の取り組みについて。
答弁 県の森林環境税を活用した事業が第3期を迎えており、平成30年度から5年間で実施されます。

国では、これまでの補助事業に加えて平成36年度より課税の予定とされています。仮称ですが、森林環境税を財源とした荒野森林を整備管理または管理して温室効果ガス削減や災害防止を目的とした事業が平成31年度より実施される予定です。



平間智治

健康づくりの推進と新制度導入について

平間 多久市の医療費の現状は。

答弁 国保被保険者の平成28年度の一人当たりの年間医療費は50万6628円で県平均が43万3338円となっており県内2位です。

平間 全世代の健診の取り組み状況は。

答弁 多久っ子健診、一般健診、特定健診、がん検診など切れ目のない支援ができるようにしています。

平間 がん検診の項目に入っていない他の発見状況は。血液の検査項目が多い人間ドックの受診率アップや全世代型の検診を。

答弁 項目に入っていないがんの発見は困難な場面がありますが、これまでいくつか見つけたケースはあります。データを今後の体制整備や治療薬の開発などに使われると思いますので国の動向を注視していきたい。

平間 より多くの地域活動への参加を促進する地域福祉体制の現状は。
答弁 社会福祉協議会の自主事業と

して、訪問などの在宅福祉事業、健康生きがい事業、ボランティア団体などへの助成事業など、健康な長寿社会づくりへの活動を実施されています。

平間 地域活動を含めた健康マイレージ制度の導入ができないか。先進地では、人間ドックの受診、ウォーキング挑戦、ボランティア活動、リサイクル活動、議会の傍聴、公民館活動などでもポイントの対象項目に入れています。幅広く、長くできるポイント制度の導入を。

答弁 平成30年度より国民健康保険の方に特化したものではありませんが、特定健診の受診者、結果説明会の参加者を対象に事業を始めたばかりですが、対象者の反応を見ながら、今後の進め方を検討したいと思えます。



中島國孝

多久市内の医療体制について

中島 市の医療体制の現状は。

答弁 民間病院2医療機関、民間診療所7医療機関、公立病院1医療機関の10医療機関があり、診療科目では、複数診療科目で運営している病院2カ所、精神科病院1カ所となり、診療所での主な診療科目は、内科4カ所、小児科1カ所、整形外科2カ所です。また、町別では、東多久町に診療所3カ所、多久町には病院1カ所、北多久町では病院2カ所、診療所4カ所です。

中島 今後の医療体制はどのように考えているか。

答弁 市内医療機関が役割分担と、連携を図り、市民の健康の保持増進のために運営されると思います。市立病院については、地域医療の水準を維持向上する取り組みを行い、市民の医療・健康を全般的に支えるため、かかりつけ医を支援していきます。また、中部医療圏内では、佐賀大学医学部附属病院や佐賀県医療センター好生館など、高度な急性期機能も持つ病院と連携を図り、市内で



対応できる急性期機能を持つ病院へ、そして診療所、かかりつけ医へと機能別の役割分担や医療機関が連携していくことが大切と考えています。

中島 医療機関がない町が2カ所あるが、閉院した病院を活用して出張診療はできないか。

答弁 現在の外来の診療を一部取りやめて院外の診療所に行くことは、医師確保に現在苦慮している状況では難しく、また、院外の診療施設等で診療する場合は、機械設備等の準備が必要になり、複数箇所、施設を管理運営することは運営面から厳しいと思っています。



服部奈津美

市職員のストレスチェックについて

服部 ストレスチェックの具体的な流れは。

答弁 全職員にストレスチェックの受検を促し、検査結果を本人が確認、今後の業務やライフスタイルの改善に生かしてもらいます。

服部 高ストレスの職員への対応は。

答弁 医師の面接を勧奨し、医師が措置を必要と判断される職員がいた場合には必要な措置を講じます。

LGBT(レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダー)について

服部 市の基本的な考え方について。

答弁 多久市人権教育・啓発基本方針の改訂版の中に、LGBTに関する項目を基本方針として掲げ、さまざまな性的指向や性自認の人たちが不自由なく、その人らしく、自分らしく生きていくための権利が尊重される社会づくりを目指していきたいと考えています。

服部 具体的な支援について。

答弁 多様な性のあり方について、当事者団体などの意見も聞きながら、現状を踏まえた教育、あるいは啓発のあり方を検討し、市職員の研修などの充実を図るなどとともに、これまでの人権・同問題の研修会などにLGBTについても取り入れ、啓発の推進につとめたい。

服部 教育現場での対応について。
答弁 「多様な性への理解をともに広げる会」代表をお招きし、教職員が性の多様性と学校における対応について学びました。児童・生徒と日ごろから信頼関係を構築し、相談できる雰囲気醸成に努めています。

